

平成28年度 学校評価 (総括評価表)

重点課題	重点目標	評価指標 (活動計画)		評価			学校関係者評価 学校関係者の意見
		評価指標		評価指標による達成度	自己評価	総合評価 (評定)	
「合理的配慮」の視点に基づいた人権教育の推進	<p>【中期目標】 学校の教育活動全体を通じて「合理的配慮」の視点に基づいた、子どもたち一人一人の安全安心を確保し自己実現をめざす人権教育を推進する。(2年間)</p> <p>・「合理的配慮」について理解を深めるとともに、教職員間で共通理解の高揚を図る。</p> <p>・「合理的配慮」の視点で、各課業務の改善、充実を図る。</p> <p>【短期目標】</p> <p>・各課が「合理的配慮」の視点から取り組むことにより、児童生徒一人一人の障がいやニーズに応じた支援につなげる。</p> <p>・実践した内容等を中間報告としてまとめる。(1年目)</p> <p>・実践した内容等を研究紀要にまとめる。(2年目)</p>	<p>学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合理的配慮」や人権に関する研修会を年間3回以上開催する。 ・研究授業を年間3回以上実施する。 ・「合理的配慮」の視点で授業計画や授業改善ができたとの評価が80%以上になる。 ・実践内容を研究紀要としてまとめる。 	<p>【教務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業式及び入学式について、パワーポイントのスライドによる視覚支援を行い、教員にアンケートを取り、「有効であった」との評価が70%以上になる。 <p>-----</p> <p>【研究課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立活動において、一人一人に応じた適切な指導や支援を行うために、活動内容・社会人講師や外部講師からのアドバイス・配慮事項などを共通の書式にてデータ化し、活用しやすいものにして情報を共有する。 ・自立活動を担当する教員の80%がデータを活用し指導に役立っている。 <p>-----</p> <p>【特別活動課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活における安全安心な環境作りのための合理的配慮について検討する。 ・防災学習を年間3回以上実施する。 <p>-----</p> <p>【人権教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会後のアンケートで「理解が深まった」「人権意識が高まった」との評価が80%以上になる。 ・研究授業、授業研究会後のアンケートで「授業改善に役立つ」との評価が80%以上になる。 <p>-----</p> <p>【情報視聴覚課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用の研修および授業実践の取組において「指導力が向上した」「学習活動に役立った」との評価が80%以上になる。 ・個々のICT活用の取組を全教職員が共有し、児童生徒の学習活動を充実させる。 <p>-----</p> <p>【特別支援教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画」に記載された支援の手立てについて教職員間で年間2回以上検討会を行うと共に、家庭訪問や個別懇談等で保護者と相談の機会を持つ。 ・巡回相談活動の際、合理的配慮に関する基礎的情報の資料を継続して配布し、各学校園の実情に応じた基礎的環境整備や、特別な支援を必要とする幼児児童生徒への合理的配慮に基づく取組について巡回相談活動で確認を行い、「取り組んだ」との回答を70%以上得る。 	<p>【教務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントのスライドの原案について、各学部の意見を取り入れながら作成した。アンケートの結果94%の教員から有効であったとの評価を得た。 <p>-----</p> <p>【研究課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通の書式をシート形式にして活用しやすいものにし、情報を共有することができた。 ・自立活動を担当する教員の90%がデータを活用することができ、指導に活かせることができた。 <p>-----</p> <p>【特別活動課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎内の物品の整理や片付けをするなど、地震の際の校舎内の安全面や避難経路について再検討し、徐々に改善を進めている。 ・中高等部での防災オリエンテーリング、防災グッズについての学習、各種避難訓練4回など合計6回実施した。 <p>-----</p> <p>【人権教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容について80%以上の教員が「大変理解が深まった」とのアンケート結果を得ることができた。 ・90%以上の教員から「理解が深まった」「今後の授業に生かすことができる」とのアンケート結果を得ることができた。 <p>-----</p> <p>【情報視聴覚課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ICT活用に対する理解」および「ICT活用指導力」の向上について、肯定的な自己評価を80%以上得た。 ・全職員がアクセス可能な「★H27-28年度ICT活用事例」フォルダを作成、情報収集および共有化を図り、児童生徒の学習活動に役立っている。 <p>-----</p> <p>【特別支援教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画」に記載された支援の手立てについて、各学部ごと年2回の検討会を行った。また、家庭訪問や個別懇談等において、保護者との相談についても行うことができた。 ・巡回相談活動で訪問した25校に、合理的配慮に関する資料を再度配布することができた。また、合理的配慮に基づく取組の確認において、「取り組んだ」との回答を80%以上得ることができた。 	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>・病弱や肢体不自由、重度重複の児童生徒に対する合理的配慮について、きめ細くまた丁寧に実践できていた。</p> <p>・各課の取り組みにおいて、目標値を超えて達成できていた。特にパワーポイントによる視覚支援や防災学習、ICTについて有用な取り組みであった。</p> <p>・校外での巡回相談活動なども充実しており、センター的役割を發揮している。</p> <p>・情報保障も合理的配慮のひとつであるように、手話通訳が必要な方や電動車いすに乗っている方などいろいろな障がいの方が気軽に、自然な形で参加できる研修の場ができるとうい。</p> <p>・学校研究についても病弱や肢体不自由、重度重複の児童生徒に対する合理的配慮については、非常に充実した研究ができており、貴重な研究資料も作成されている。是非、全国へ発信していただきたい。</p>
	各課	<p>各課</p>	<p>-----</p> <p>【特別活動課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎内の物品の整理や片付けをするなど、地震の際の校舎内の安全面や避難経路について再検討し、徐々に改善を進めている。 ・中高等部での防災オリエンテーリング、防災グッズについての学習、各種避難訓練4回など合計6回実施した。 <p>-----</p> <p>【特別支援教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画」に記載された支援の手立てについて、各学部ごと年2回の検討会を行った。また、家庭訪問や個別懇談等において、保護者との相談についても行うことができた。 ・巡回相談活動で訪問した25校に、合理的配慮に関する資料を再度配布することができた。また、合理的配慮に基づく取組の確認において、「取り組んだ」との回答を80%以上得ることができた。 	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>-----</p> <p>【特別活動課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が見通しを持って、式典に参加できるための支援ができた。 <p>-----</p> <p>【研究課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人講師からのアドバイスをデータ化した共通書式を検討し、活用しやすいものとなった。それを基に児童生徒に応じた適切な指導や支援をしていくことができた。 <p>-----</p> <p>【特別活動課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒及び教職員の防災意識が高まりつつある。 <p>-----</p> <p>【人権教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮について理解を深めたり、授業研究会で協議したり、保護者と話し合ったりすることができた。 <p>-----</p> <p>【情報視聴覚課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のニーズや教員のスキルに 	

	活動計画	活動計画の実施状況	応じて ICT 活用 および支援につな げることができ た。
学校全体	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の向上のための研修会を実施する。また、一人一人の障がいやニーズに応じた支援が行えるよう、専門家からのアドバイスを受ける機会を設ける。 ・「合理的配慮」の視点で、各課業務の改善、充実に取り組む。 ・「合理的配慮」の視点を授業計画や人権教育年間計画に反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、保護者、教職員を対象として研修会を実施し、人権意識の向上を図ることができた。また、授業研究会や自立活動等において外部講師から様々なアドバイスを受けた。 ・合理的配慮の視点で各課業務の改善、充実を図ることができた。 ・年間計画や研究授業等において、提供する合理的配慮について考え、表記することができた。 	<p><特別支援教育課> 「個別の教育支援計画」に基づき、進級や進学、進路先との引き継ぎ資料としても活用することができた。</p>
各課	<p>【教務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度卒業式、平成 29 年度入学式を対象に、各学部の教職員の意見等を参考にしながら、視覚支援のスライドを作成する。 <p>【研究課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員から項目や記入内容等についてアンケートをとり、活用しやすい共通書式にしていく。 ・それぞれの教員が、共通書式を活用し情報を共有することで、児童生徒の教育活動に生かす。 <p>【特別活動課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時を想定し、児童生徒への防災学習を充実するために課題を解決していく。 ・災害の種類と規模に応じた複数の避難ルートの検証と整備及び訓練の実施 ・校内点検作業からわかった危険箇所の棚などの転倒、落下、移動の防止等の対策 <p>【人権教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、保護者、教職員を対象とした「合理的配慮」や人権に関する研修会を開催する。 ・各学部で「合理的配慮」を推進するための研究授業を行う。また、授業研究会を開催し、授業改善を図る。 ・児童生徒や保護者と「合理的配慮」について考える機会を設ける。 <p>【情報視聴覚課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の ICT 活用指導力向上に向けた研修会を年間 5 回以上実施する。 ・各教員がケース会等で一事例以上の取組を発表し、事例集の様式にまとめる。 ・学期に 1 回、ホームページや学部だより等で ICT 活用の様子を保護者や地域に知らせる。 <p>【特別支援教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画」に記載された支援の手立について教職員間で検討会を行ったり、保護者と相談の機会を持ったりしながら、「個別の教育支援計画」の充実を図る。 ・地域の幼（保）、小・中、高等学校への巡回相談時に、特別な支援を必要とする幼児児童生徒一人一人に対する合理的配慮の具体的な支援方法助言を行うようにする。 	<p>【教務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式については、前倒しでスライドを作成し、使用した。卒業式のスライドは、計画に沿って各学部の意見を聞きながら作成した。 <p>【研究課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員からアンケートをとり、記入内容等を検討して全学部の児童生徒の今までの自立活動記録を見ることができるようにした。また、写真や細かい記入により活用しやすいものとなった ・社会人講師の指導後に自立活動担当者が児童生徒の共通書式シートを見ることにより、指導内容の共有を図ることができ、活動に活かしていくことができた。 <p>【特別活動課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災等様々な規模や種類を想定した避難訓練を実施し、避難経路の確認や見つかった課題について検討し、次回の避難訓練に生かしている。 ・講師を招いて防災教職員研修会を実施し、本校の減災対策についてアドバイスを受けた。 <p>【人権教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容について 80 %以上の教員が「大変理解が深まった」とのアンケート結果を得ることができた。 ・90 %以上の教員から「理解が深まった」「今後の授業に生かすことができる」とのアンケート結果を得ることができた。 <p>【情報視聴覚課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマに関する指導が可能な教員の協力を得て希望研修を 3 回、研究課や人権教育課の協力を得て教職員全体研修を 2 回実施することができた。 ・学部内のグループ研究や学部ケース会で ICT 機器の活用に取り組んでおり、その事例について事例集の様式で報告することができた。また、教員全員が ICT 機器を活用した実践を事例集にまとめた。 ・学期に 1 回以上、ホームページや学部だより等で、学校や校外における児童生徒の ICT 活用の様子を保護者や地域に発信することができた。 <p>【特別支援教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会を持つことにより、児童生徒の実態に基づく支援の手立てについてより多くの教職員の視点によるチェックを行い、修正を加えることができた。また、保護者の方とも確認を行いより具体的な支援について、相談することができた。 ・巡回相談活動で、特別な支援を必要とする幼児児童生徒一人一人のニーズや各学校（園）の実態等考慮し、合理的配慮に基づく支援方法の提示や助言を行うことができた。 	<p>次年度に残された課題</p> <p>個別の教育支援計画に合理的配慮を記載することについては、次年度には、書式を整え記載できる方向で取り組んでいきたい。</p> <p>また、合理的配慮については、毎年児童生徒が入れ替わることから、毎年新たな課題が出てくると思われる。この 2 年間で、築かれた視点で来年度からも合理的配慮も視点に基づき、人権教育を推進していく必要がある。</p>